

北東アジア動向分析

北東アジア概況

北東アジア各国（朝鮮民主主義人民共和国を除く）の2001年の主要経済統計が出揃った。以下では各国経済の状況を、GDP、インフレ率、貿易収支の三つの主要指標から概観する。

実質経済成長率（GDP）

中国の成長率は7.3%で、前年の8.0%には及ばなかったが、域内各国の中で最も安定した高成長を記録している。

ロシアの成長率は5.0%で、やはり前年の9.0%には及ばなかったが、99年から3年連続でプラス成長を達成した。

モンゴルは悪天候の影響を受け、前年に引き続き1.1%と低い成長率にとどまった。

韓国は通貨危機による98年のマイナス成長以降、99年には10.9%、2000年は9.3%と急速な回復を見せてきたが、2001年は3.0%に止まった。

インフレ率（消費者物価）

中国の物価は引き続き安定している。インフレ率は前年の0.4%に続き、0.7%となっている。

ロシアではインフレが持続しており、2001年においても18.6%となり、以前よりは改善したものの高いインフレ率

を記録している。

モンゴルもインフレ傾向が続いており、2001年には前年の8.1%よりも上昇し、11.2%となっている。

韓国は通貨危機による輸入物価の上昇で、98年には7.5%の物価上昇を記録した。その後は沈静化し、2001年は4.1%となっている。

貿易収支

中国は輸出の急増した97、98の両年に400億ドルを上回る黒字を記録したが、その後輸入の増加により黒字幅は減少し、2000年には241億ドルとなっている。

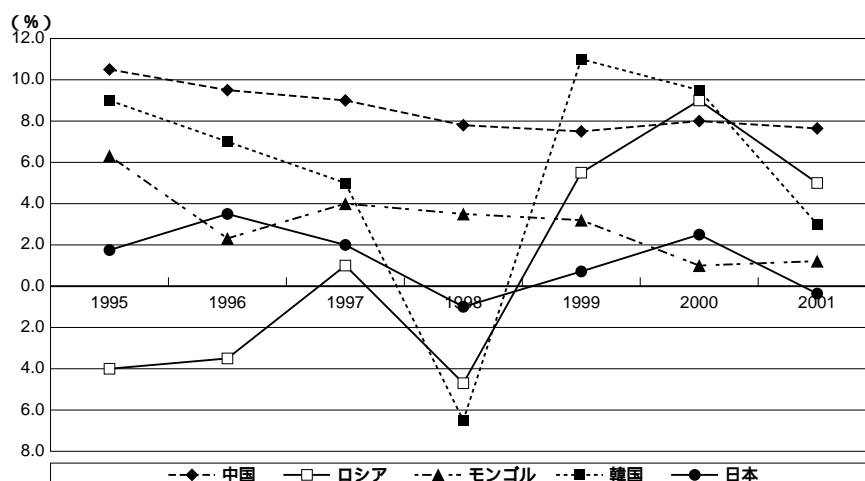
ロシアは99年以降、輸出の拡大と輸入の縮小によって貿易収支の黒字が拡大した。2001年は前年よりは縮小したものの、494億ドルに達した。引き続き外需はロシア経済の回復を支えるエンジンとなっている。

モンゴルは1.7億ドルの赤字となった。これで同国の赤字は96年から6年連続となった。

韓国は前年の169億ドルには及ばなかったものの、134億ドルの黒字となっている。

（ERINA調査研究部研究主任 中島朋義）

実質経済成長率の推移



インフレ率の推移（消費者物価）

(%)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
中国	17.1	8.3	2.8	0.8	1.4	0.4	0.7
ロシア	131.3	21.8	11.0	84.4	36.5	20.2	18.6
モンゴル	53.1	44.6	20.5	6.0	10.0	8.1	11.2
韓国	4.5	4.9	4.4	7.5	0.8	2.3	4.1
日本	0.1	0.1	1.8	0.6	0.3	0.7	0.7

貿易収支

(百万USドル)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
中国	16,700	12,220	40,420	43,570	29,230	24,100	22,600
ロシア	20,310	22,471	17,025	16,869	36,130	60,700	49,429
モンゴル	58	27	17	158	155	148	170
韓国	4,444	14,965	3,179	41,627	28,371	16,872	13,392
日本	131,790	83,560	101,600	122,390	123,320	116,720	70,164